

## ドイツでの家庭ゴミのリサイクル方法

### 家庭ゴミを分別する

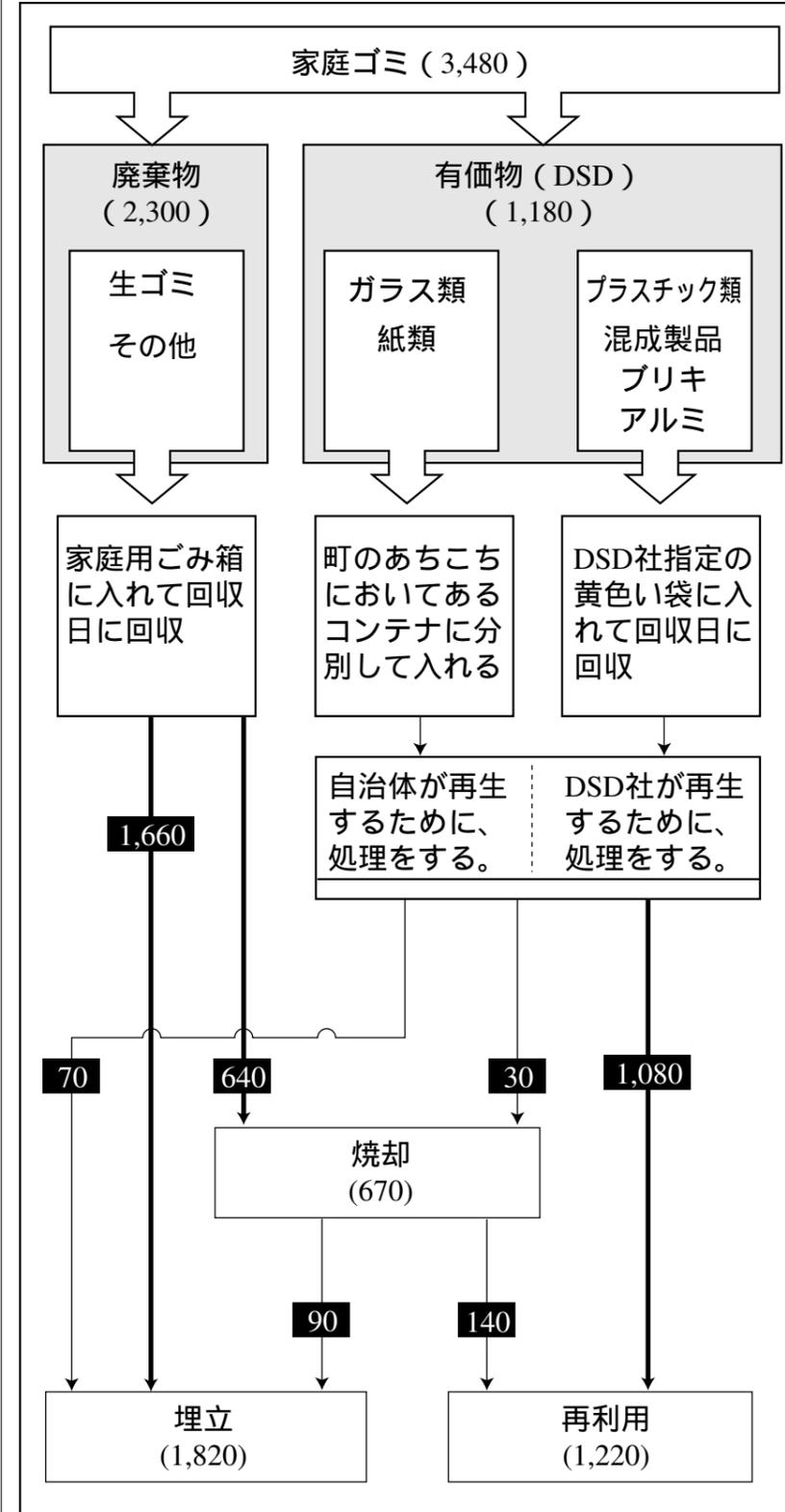
まず驚くのは、ドイツの場合ゴミを廃棄物と有価物とに分けるところ。廃棄物は処分されるべき廃棄物、有価物は利用されるべき廃棄物です。生ゴミも一部有価物として、堆肥として利用されているようです。(くわしい記述がないのでわからないのですが、ほとんどが埋められているようです。)

### 回収 再生処理

DSD社と自治体によりゴミが回収されます。それぞれのゴミにより、資源に再生するシステムが確立されています。

### 埋め立てが多いわけ

ヨーロッパは隣接国と陸続きのため、ゴミを燃やした時に有害物質が出た場合の配慮の結果、埋め立てる割合が多いそうです。



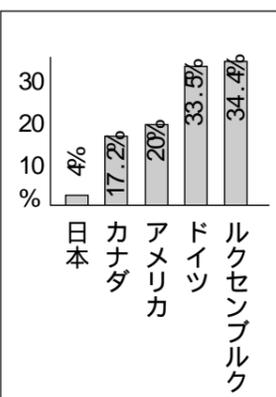
家庭ごみのリサイクルシステム (単位万トン)

# ごみとドイツ？資源？

## ごみとドイツ

ごみ問題を調べていると、必ず「ドイツのリサイクルは素晴らしい」と書いてある。余りにもしつこく書いてあるので今回は「ドイツでのリサイクル方法」を調べてみたので報告します。

リサイクル率  
家庭ゴミの各国のリサイクル割合を調べてみた。



ドイツが優秀な成績なのがわかります。これはDSDによる容器包装廃棄物の別回収システムによるものなのです。

## DSDとは？

Duales System Deutschland AGの略。ドイツ全土で使用されている殆どの容器包装廃棄物に対して、分別収集からリサイクルリングまで責任を持って組織運営している会社です。容器包装廃棄物の元締めみたいな存在です。DSDがドイツ全土における殆どの容器包装廃棄物を引き受けて、委託した会社にて選別処理させるわけです。DSDがライセンスした容器包装材には「緑の点」、Greener Punkt(グリーンナ



グリーンナ  
ポイント

## 家庭ごみのリサイクル

ドイツでは、DSDと自治体により、ゴミのリサイクルリングシステムが確立されている。おおまかな流れを別ページの表にて説明しているので参照してください。

## 日本でのリサイクル

日本で、国を挙げての廃棄物処理システムとリサイクルリングシステムが確立するまで、自分達で考えたリサイクルをするしかない。どうすればゴミが減らせるのか。ゴミを資源として利用するにはどのような方法があるのか。次号では、その辺の所を調べてみようと思う。

PRIVATE PRIVATE